

With one

Design information - 情報デザインの総合力で事業をサポート -

トピックス

8月のご挨拶

情報デザインのホームページ活用術

著作権表記とは

ロンドン旅行記



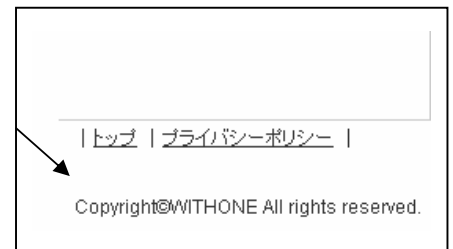
- 残暑お見舞い申し上げます -

先日、ウイズワン同様に公的機関の支援を受けている起業家仲間15名と、納涼会を兼ね情報交流会をしました。各自が事業の進捗発表をして、意見交換をおこないました。この支援は一応1年期限のため、メンバーは、期限が来た方が入れ替わります。業種や世代は違えども、事業を成功させたい志を持つ方と話しをすると、気分が前向きになり、やる気を新たにする熱い夜になりました。まだまだ暑い日が続きますが、皆様どうぞご自愛くださいませ。

情報デザインのホームページ活用術 著作権表記とは

- ホームページを公開されている方を対象に、分かりやすい言葉で簡単な活用ヒントをご紹介します -

先日、お客様からこのようなご質問がありました。
「ホームページの最終行に表示されている英文はどういう意味ですか?」。Copyright(c)WITHONE All rights reserved.のことです。これは著作権表示で、意味は下記ようになります。



Copyright(c)WITHONE = 著作権が WITHONE (ウイズワン) にあるということを意味する。

All rights reserved = 著作権に関する全ての権利を保有するということを意味する。

また、上記表記に著作物の発行年を入れる場合もありますが、省略することもあります。

著作権に関する法律は、著作権法です。コンテンツのデジタル化やネットワーク社会になり、情報の入手が便利になったことと引き換えに、私達は著作物に関して知らず知らずに不正使用の加害者、被害者になりやすい環境にあります。HP管理者は、著作権に対しての最低限の知識は持っておかねばなりません。著作権法は、専門書などを読んででもわかりづらく、専門家に相談すれば相当の費用が必要となる場合もあります。しかし、最近では、ホームペ

ーじやブログの著作権について、事例などを含め分かりやすく解説している書籍もありますのでご参考にしてください。

参考サイト:文化庁 <http://www.bunka.go.jp/chosakuken/index.html>

参考書籍:翔泳社 「どこまで OK?」迷ったときのネット著作権ハンドブック

ロンドン旅行記

私と主人の共通の趣味は旅行です。ファイナンシャルプランナーの資格を持っている主人が、数年前に自分のライフプランを作成したときに、定年後から年 1 回は海外旅行に行くプランを作成しました。そのときは、「75 歳まで毎年旅行に行くとしても10回位しかしかないな〜と」しみじみ。それがどうしたことが、4年前から前倒して海外旅行を実行するようになり、今年も6月中旬に、好景気に沸くロンドンに行ってきました。

私たちの旅のスタイルは、できるだけ1都市だけに滞在し、美術館やミュージカルなどのカルチャーを満喫することです。今回は、そんな私たちの旅を少しご紹介いたします

【乗り物編】

航空機は、JAL 4 2 1 便を利用した。最近では、全日空の機内サービスが優れているという噂を耳にしましたが、私の経験では海外航空会社の平均からすると、JALも十分満足できます。そして、現地での移動は、世界一古い歴史を持つ地下鉄(Underground)と、タウンウォッチングに最適な真っ赤なダブルデッカー(2階建てバス)を利用した。ロンドンの交通機関は、歴史も古くそれ自体がロンドン名物です。地下鉄のプラットフォームは、天井の高さが低くアーチ型です。車両の天井も日本より低くて幅も狭く驚きです(要するに狭い)。でも、古くても駅構内は比較的明るく清潔でした。乗車料金は、ゾーン別(区間別)に設定されていて、窓口か自販機で購入できる。ダブルデッカーには、天井が無い観光用バスと、通常の路線バスの2種類があります。私たちは、地下鉄とバス共有の1dayパスを利用して、路線バスの2階最前列からタウン・ウォッチングしました。通りごとに異なる風景を楽しめて、私の



オススメです。

【観光編】

時間の限られるなか一通りのスポットを見て回りました。まず、写真撮影栄えることから有名なバッキンガム宮殿





の近衛兵の交替式を見学しました。TDL のパレード待ちのごとく、一時間前に到着し中央入り口の前に陣取りました。おもちゃ人形のように演奏しながら正確に行進する様は必見です。でも、あの超山高の帽子の中がどうなっているのか？がとても気になりました。このほか、SOHO 界限やコベントガーデン、ノッティングヒルなど様々なエリアの散策を楽しみました。

【平日と週末の違い】

イギリス人は、「平日は比較的質素な生活や食事で済ませ、週末には一点豪華主義ですよ」と聞いていた。週末になるとドレスアップして食事に出掛けたり別荘に行くとか・・・ロンドン到着は火曜でしたから、紳士達もビジネス帰りスーツでパブで飲んでいました。しかし、金曜の夜は少々事情が異なりました。ホテルロビーで見かける紳士達は、ブラックタイにカマーバンド姿、女性はイブニングでTAXI乗り場に停車しているリムジンに乗り込んで消えていく。そして街行く人も心なしかドレスアップしてレストランやミュージカルなどに行く雰囲気でした。やっぱり、イギリス人は、メリハリのある生活をしているようです。それに、英国紳士は、青年から老年の方まですらっとしている人が多く、スーツがとても似合うし、背が高く肩幅があり鼻が高く男前でよい目の保養になりました。



【ビール編】

ビール好きの私の楽しみ！パブで飲むビール。本場だけのことはあり、バラエティに富んでいておいしいです。旅行初日にSOHO周辺パブナイトツアーのガイドからオーダーの方法などをレクチャーしてもらい、その後滞在中は毎日楽しみました。

ビターは、赤茶色のイギリス独自の生ビール。ラガーは、日本でもポピュラーなドイツ風ビール。スタウトは、黒ビール(日本でも有名なギネス社のが有名)私は、冷えているラガーが好きです。お酒に弱い主人は、ビターかラガーをレモネードで割るシャンディを飲んでいました。

旅行中は、お昼からビールを飲むことも楽しみですが、飲んだら発生する自然現象でトイレに行くこととなります。海外では、気軽に使用できるトイレが少ないのが悩みのタネ。日本がトイレ天国？であることを海外旅行のたびに実感します。ロンドンの古くからあるパブのトイレは、2階にあることが多く、用をたした後は2階の少し出っ張った窓から外に捨てていたとか(ガイドさんの話です。)



【ホテル・買い物編】



ホテルは、市内移動しやすさを考慮し、街の中心部のピカデリーの南東ジャーミン St. に位置している4つ星ホテルに宿泊しました。改装済みで水周りの設備も良く、シンプルで落ち着いたインテリアで快適でした。次にいつもは楽しいショッピングですが、空前の円安の時に去了から、もっぱらウインドウショッピングでした。それに、ブランド店や現

地で人気のある商品などは、日本でも入手できるので、新鮮さありません。買い物の情熱が薄れてきています。

パートナーがいる旅では感動や喜びを共有することができますね。そして、言葉が通じないときなど、様々なトラブルも助け合い解決することができます。非日常の環境で自分自身やお互いを見つめ直し、成長し合えるように思います。旅って本当にいいですね～来年も休暇を取り旅行に行けるよう、しっかり働きたいと思います。

＊＊次回は、Oh! My - Kobe 私のオススメ神戸情報「東山市場」です＊＊＊

＝ 編集後記 ＝

作詞家の阿久悠さんが8月1日に亡くなられた。ヒットメーカーを偲んだTVの追悼番組や情報番組で懐かしい歌の数々を一挙に耳にすることになった。音楽好きな私は、70・80・90年代にラジオ・TVでの音楽番組全盛時代にそれらヒット曲を楽しんだ。そして1985年に社会人となり営業の仕事をするなか打ち上げや接待の席などのカラオケでは、J-POPや演歌まで幅広い阿久悠さんのヒット曲を歌わせてもらった。今回の追悼番組で、あらためてこの曲や本も阿久悠さんかと思えるものもあった。生涯5000曲を超えるその時代(トレンド)を反映した詞でヒット曲を生んだ。後世に残る仕事をされたことに感銘した。心よりご冥福をお祈りいたします。

ニュースレター編集部 発行人 迫前美鈴

株式会社ウイズワンニュースレター VOL.1 第5号

発行年月日 2007年8月20日

株式会社ウイズワン (ホームページ制作事業、セミナー & 研修会の企画・運営サポート事業)

〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1丁目8番4号神戸市産業振興センター5階(5-5)

会社サイト <http://blog.withone-jp.net> セミナ-サイト <http://withone.net>

本紙は、お客様、セミナーご参加者、お取引先様に役立つ情報や弊社のPR情報をメール便やメール配信でお届けしています。記事は、調査、取材をもとに発行人視点で編集しています。送付不要、ご意見、ご感想などがございましたらお手数ですがこちらへお願いします。

TEL&FAX 078-360-6115

info@withone-jp.net

Copyright©WITHONE ,All rights reserved.

With one Design information

お金に効く心理学

こんにちは、心理セラピスト Kannon の高塚です。

この暑い夏、みなさんは、いかがお過ごしですか？夏期休暇を満喫された方、ただただ暑さにほだされて、ぼ~としていた方、それぞれかと思えます。

2007年、夏の思い出がまだない方や、休暇を取り逃がした方は、Kannon が癒されるコメントをたくさん提供している

リクルート社「関西じゃらん」9月号 ～遊園地・動物園・水族館で癒されて～

をぜひ、ご参考にしてくださいね。まだ間に合いますこの雑誌を見ているだけで、旅行に行ったかのような錯覚に陥るだけでなく、どこかに遊びに行きたくなります



という私は、この夏はじめて、徳島の「阿波踊り」を見にに行ってきました。

阿波踊りがいいと思えたところは、老若男女問わず、皆が参加できること。誰が偉いとか偉くないとか、この土地のものだとか、そうでないとか、一切関係なく、踊れる者は、みなひとつ！分け隔てなく平等なのです。とても庶民的なお祭りでした。

踊れるということは、恥も外聞もなく、自分自身をさらけだし表現できるからこそです。上手くできるとか、ルックスがいいとか、全然関係ないのです。

無心になって、踊れること・・・それは、あなた自身そのものです。
あなたが生きている世界で、大いに踊りあかしてください。

ワークショップ【お金に効く心理学】9月開催日程

9月 8日(土) 大阪・ホテル阪急インターナショナル

9月17日(月・祝) "

申込み・問合せ先 (株)ウイズワン **078-360-6115**

詳しくは、HPにあるご案内 <http://withone.net/kouza01.html> をご覧ください。
ワークショップ形式にご興味ある方は、東京で開催されたワークショップのレポート <http://withone.net/report01.html> をご覧くださいませ。

